The 40th 第40回東京モーターショー2007
TOKYO MOTOR SHOW 2007 News vol.11
世界に、未来に、ニュースです。
Catch the News, Touch the Future.
平成19年11月4日

ダイハツ工業

# 「楽しさ」「環境への優しさ」「広さ」を追求したスモールカーの創造へ

DAIHATSU

▲ハート&スマイル・コンセプトの「HSC」とオープンスポーツの「OFC−1」が並ぶメイン・ステージ




◀独自の先進技術も展示

ダイハツ工業は今年3月の創立100周年を機に新しく制定したグループスローガン「Innovation for Tomorrow」をテーマとして、軽自動車を軸としたスモールカーが創り出す「楽しさ」「環境への優しさ」「広さ」の可能性を大胆に切り拓いている。

ダイハツ・ブースは、とてもシンプルで見やすい。中央通路から臨めば左右のステージにそれぞれワールドプレミアの「MUD MASTER−C」と「新型TANTO」シリーズが、続く平床面には「Copen」を真ん中に6台の市販車が整然と並ぶ。奥の幅広いメインステージに進むと、やはり左右それぞれにジャパンプレミアの「HSC」と「OFC−1」が放つインパクトに到達する。その左側面には、ワールドプレミアの全方位事故回避支援システムを中心とする技術パフォーマンスという構成だ。

小ささと軽さとが生み出す高い走破性に加え、フレーム付きボディの圧倒的な耐久性と積載性が自慢の「MUD MASTER−C」、軽の新ジャンルを開拓したタントをさらに広く・使いやすく進化させた「新型TANTO」シリーズ、どんな天候でもオープンエアが満喫できる開放感と爽快な走りを合わせ持つ「OFC−1」、いまある現実的な技術を駆使して環境へのやさしさを徹底追求した「HSC」と、見どころに外れはない。世界で初めて開発した自己再生機能を持つスーパーインテリジェント触媒の技術プレゼンスなど、着実に成果を上げてきた今のダイハツの勢いがそのまま感じ取れる全体デザインになっている。

# ダイハツ工業　「スモールから、時代を変えていく」意気込みあふれる出品展開

4座独立シート採用で心地よい居住性を実現した「HSC」

ラクラク・安心・自在・エコを欲張り融合した「HSC」は、軽量かつ高いエネルギー吸収性が特徴のストレートフレームを採用するとともに、サイド&バックガイドモニターを設定して大幅な死角低減を実現。CVTやアイドルストップシステムなど、現実的なパワーユニットでリッター当たり33キロもの低燃費を実現した。

ミラクルオープンエアを楽しめる「OFC−1」

電動で開閉するキャノピートップにグラスルーフを採用し、クローズ時でもパノラミックな開放感に浸れる「OFC−1」。そのルーフはスイッチ操作で簡単に透過と不透過の切り替えができる液晶サンシェードが内蔵されていて、手軽に陽射しの調整が可能だ。パワートレインは高性能ターボエンジンにCVTの組み合わせで抜群の燃費性能を発揮する。

プレスブリーフィングから

## ダイハツの技術が世界に貢献できるチャンスは無限大に広がっている

ダイハツ工業
**箕浦 輝幸** 社長

ダイハツは本年3月に創立100周年を迎えることができました。80年代以降は、軽自動車躍進の時代の一翼を担ってきた「ミラ」「ムーヴ」「タント」を発売するなど、一貫して軽自動車を中心としたスモールカー専門のメーカーとして、モータリゼーションに貢献してまいりました。

いまダイハツは、環境負荷の少ないスモールカーづくりを通じて、世界のモータリゼーションに貢献できるグローバル企業をめざし、変革に取り組んでおります。地球環境を考えたとき、扱いやすく、低燃費、省資源の軽自動車をベースとしたダイハツ技術が、世界に貢献できるチャンスは無限に広がっていると確信しております。

スモール&タフなトランスポーター「MUD MASTER−C」

サイクルスポーツ界を代表する鈴木雷太氏との共同による「MUD MASTER−C」は、3面大型ガルウィングドアを備えたマウンテンバイクサポートモデルだ。とはいうものの、多彩なアタッチメントの組み合わせによって、スノー&サーフボード、バギー、営林・造園業仕様などにも難なく早変わりできる。インテリアの撥水シートはタフなイメージの証しだ。

「新型TANTO」（左）と「新型TANTO CUSTOM」（右）

軽自動車では初めてセンターピラーレスとスライドドアの組み合わせによるミラクルオープンドアを実現したのが「新型TANTO」と「新型TANTO CUSTOM」。ホイールベースと全高を一段と拡大して軽ナンバーワンの室内空間を確保。子育て女性の声に応えて軽初のフローリングフロアを設定した。

レーザーレーダーで全方位360°が見渡せるOPCSのシミュレーター

## フェラーリ　F1ノウハウに裏打ちされた2シーターベルリネッタを初公開

◀「フェラーリ 430 スクーデリア」

フェラーリは創業60周年を迎えた今年、F1グランプリのドライバーズ王座を奪回した。日本初出品となる高性能2シーターベルリネッタの「フェラーリ 430 スクーデリア」は、それを記念するかのようにフェラーリ・モータースポーツ部門の名を冠した、V8エンジン搭載「430」シリーズのスペシャルモデル。軽量、シンプル、衝撃的なエンジン、エグゾースト音などすべてのディテールにスポーツマインドを重視したマシン開発にはミハエル・シューマッハが深く関わっており、F1ノウハウを惜しげなく投入している。ブースには他に装いを新たにしたフラッグシップGTカー「フェラーリ612スカリエッティ」、12気筒エンジン搭載のベルリネッタ「フェラーリ599」が出品展示され、人気を呼んでいる。

「フェラーリ599」▶

◀「フェラーリ612スカリエッティ」

## マセラティ　ニューフラッグシップクーペをアピール

展示は今年3月のジュネーブモーターショーで発表し、日本初出品となるフラッグシップクーペ「マセラティ グラントゥーリズモ」と、ラグジュアリースポーツセダンの「マセラティ クアトロポルテ」の各2台。「グラントゥーリズモ」はピニンファリーナのデザインによる、サラブレッドとスーパースポーツカーのイメージを融合させたスタイリングとボディサイズを持つ2ドア・4人乗りのラグジュアリークーペ。「クアトロポルテ」はマセラティのラインナップで唯一の4ドアボディ車で、「スポーツGT デュオセレクト」と「オートマチック」の2モデルを展示。「グラントゥーリズモ」、「クアトロポルテ」ともに4.2リッターV8エンジンを搭載している。

▲「マセラティ グラントゥーリズモ」

▲「マセラティ クワトロポルテ」

## ロータス　関心を呼ぶレースマシンの公道走行バージョン車

「これが一般道路を走れるの」と、来場者がささやく「ロータス 2 イレブン」は、まさにレースマシンそのもの。670キロのオープンボディに積み込まれた1.6リッター、255馬力のハイパフォーマンスエンジンはトヨタの2ZZ−GEを独自にチューンナップしている。日本初出品の公道走行バージョンとサーキット専用バージョンの選択が可能。出品車は他に「ロータス・ヨーロッパ S LX」と「ロータス・エリーゼSC ABA−117」の2台。いずれもロータスならではの手作り感覚のライトウエイトスポーツだ。

▲「ロータス 2 イレブン」
（公道走行バージョン車）

「ロータス ヨーロッパ S LX」▼

## SPECIAL　小学生を対象に「こどもカーモデラー体験教室」
## 見守る親たちは作品の出来映えにハラハラ わくわく

クレイモデルづくりに熱中する子供たち

東京モーターショーに来場する子供たちに“楽しいものづくり”を、と幕張メッセ国際会議場で催されているのが、小学生を対象とした「こどもカーモデラー体験教室」だ。10月27日、28日と11月3日、4日の午前、午後に分けて8回開かれているが、参加者を事前募集した時から応募が定員200人（各回25人）の3倍を超える大変な人気。開催当日にも、飛び入り参加を申し出る親子連れがあとを絶たないという。

教室では、日本カーモデラー協会に所属する自動車各社の現役モデラーたちから指導を受け、子供たちは台車にクレイ（粘土）を張り付ける作業に熱中、見守る親たちは「ひょっとして、ウチの子には才能が」とハラハラ、わくわく。さて完成したクレイモデルには、プロの指導モデラーがビックリするような独創的な作品も数多い。この体験教室の中から、20〜30年後には一流カーデザイナーが誕生するかも。

SYMPOSIUM 2007

## 東京モーターショーシンポジウム2007
## 第3回カーたび・フォーラム―カーたびの明日を拓く―

11月2日開催

■講演者・コーディネーター：
石森 秀三 （北海道大学 観光学高等研究センター長・教授）

■パネルディスカッション・パネリスト：
清水 愼一 （ジェイティービー常務取締役）
岩貞るみ子（自動車ジャーナリスト）
金丸 謙一 （館山市長）
会田 洋 （柏崎市長）
石川 雄一 （国土交通省 総合政策局 観光地域活動支援室長）

■主催：かーたび機構（自動車旅行推進機構）

観光立国推進基本法が制定されるなど、観光重視の流れができつつある今日、国内旅行の5割強を占める自動車旅行の質的向上は急務である。シンポジウムでは、まず石森氏が「観光立国時代における『カーたび』」をテーマに基調講演を行い、余暇重視、地方分散型の社会づくりの必要性、その中での旅行の役割などについて論じた。

続いて行われたパネルディスカッションでは、清水氏が旅行業界の立場から、高速道路へのパッケージ料金の導入など、柔軟な制度運営の必要性をアピール。岩貞氏は誰もが積極的にカーたびを楽しむことができる情報システムづくり、金丸氏と会田氏はカーたび推進のための自治体間の連携強化の必要性を主張。石川氏は国内観光振興は日本人のみならず、外国人観光のインバウンド需要喚起にも役立つと語り、カーたびはその実現の重要な要素であると締めくくった。

SPECIAL

「ダブルダッチ」に拍手喝采

## 跳んで 回って 回って 跳んで 交通安全クイズ

11月1日からさまざまなお楽しみイベントを開催している幕張メッセ西休憩ゾーンの「ライフスタイルパーク」。そのイベントステージでダンスと縄跳びを組み合わせた「ダブルダッチ」チームの絶妙なストリートパフォーマンスが来場者から拍手喝采を浴びている。

ダブルダッチ競技の世界選手権大会で優勝経験などもある筋金入りのパフォーマンスグループが出演。「WEAR YOUR SEATBELT」のコピー入りのオリジナルTシャツを着用し、軽快なリズムに乗って跳んだり跳ねたり、バック転をしながら自由自在に縄跳びを操る。

11日までの期間中、毎日、午前と午後の2回開催。1回のステージは30分間だが、パフォーマンスの合間には、「後席シートベルト着用」「飲酒運転防止」などを呼びかける交通安全クイズも行われ、正解者にはQUO（クオ）カードをプレゼント。子供から大人まで来場者とステージが一体となって楽しめる。

EVENT

今日のイベント（予定）
**11月4日（日）**

### <ライフスタイルパーク（西休憩ゾーン）>

- **サンケイリビング新聞社「ママの疑問を解決！ クルマトークショー」**
  11：00～12：00／13：30～14：30
- **トライアルデモンストレーション**
  12：00～12：30／15：00～15：30
- **ダブルダッチ**
  12：45～13：15／15：45～16：15

- **シンポジウム**（国際会議場2階　国際会議室）
  13：30～16：20
  「自動車リサイクル」
  体験型学習ショー／パネルディスカッション

- **少年少女モーターサイクルスポーツスクール**（中央休憩ゾーン）
  午前の部：10：00～12：05（試乗券配布 9：30～）
  午後の部：14：00～16：05（試乗券配布 12：30～）
- **スロットカー・サーキット**
  9：30～19：00（北ホール2階・キッズパーク）
- **ミニシアター～クルマの夢・楽しさ・素晴らしさ～**
  10：40～12：25／13：05～18：30（国際会議場3階 302号室）
- **4×4 アドベンチャー同乗試乗会**
  11：00 ～ 16：00（幕張海浜公園Gブロック内 特設専用コース）
- **セーフティドライブ体験試乗会**
  11：00 ～ 16：00（幕張海浜公園Gブロック内 特設専用コース）
- **クリーンエネルギー車同乗試乗会**
  11：00 ～ 16：00（幕張海浜公園D・Eブロック内 特設専用コース）
- **商用車同乗試乗会**
  11：00 ～ 16：00（幕張メッセ周辺公道
  幕張メッセ南休憩ゾーン東側通路発着 東ホール東側）

※試乗券配布場所：幕張メッセ南休憩ゾーン西側　※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。

このニュースは、コニカミノルタ ON DEMAND PUBLISHER C65で出力しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
プロダクションプリント事業部
TEL. 03-5205-7820
URL. http://konicaminolta.jp/pr/odp



The 40th TOKYO MOTOR SHOW 2007
11月3日の入場者数 152,100人　入場者数累計 716,700人

東京モーターショーニュースVol.11　2007年11月4日発行
発行所　社団法人 日本自動車工業会 広報室
〒105-0012　東京都港区芝大門1丁目1番30号　日本自動車会館
TEL.03-5405-6119　FAX.03-5405-6136
WEB SITE www.tokyo-motorshow.com
JAMA